

## 1 開会及び閉会に関する事項

開 会 令和2年11月27日(金) 午後3時  
閉 会 令和2年11月27日(金) 午後4時30分

## 2 出席した構成員の氏名

大津町長	家入 勲
大津町教育委員会教育長	吉良 智恵美
大津町教育委員会教育長職務代理者	中尾 精一
大津町教育委員会委員	斎藤 陽子
大津町教育委員会委員	津留 武芳
大津町教育委員会委員	寺下 早苗

## 3 構成員及び傍聴人を除く外、会議に出席した者の氏名

総務部長	藤本 聖二
教育委員会教育部長	羽熊 幸治
教育委員会教育部次長	平岡 馨
教育委員会教育部学校教育課長兼教育支援センター長	村山 博徳
教育委員会教育部子育て支援課長	大隈 寿美代
教育委員会教育部生涯学習課長	荒牧 修二
総務部総合政策課長	木村 欣也
総務部総合政策課審議員	田島 慎也
教育委員会教育部学校教育課審議員兼指導主事	福田 恒臣
総務部総合政策課企画政策係長	田上 雄一
総務部総合政策課行革推進係長	津曲 直也
教育委員会教育部学校教育課施設係長	桐原 智之
教育委員会教育部学校教育課学務係長	辻口 浩二

## 4 傍聴人の有無

有り ( 6 人)

## 5 協議題を提出した者の氏名

①学校教育施設の整備について	(村山課長)
②GIGAスクール構想の充実について	(福田審議員)
③不登校対策について	(村山課長)
④学校の働き方改革について	(福田審議員)
⑤市区町村子ども家庭総合支援拠点について	(大隈課長)
⑥その他	

## 6 質問及び討論

### ①及び②について

意見 保護者としても大津中の床の修復は早めに行っていただきたいと思います。その方が学習面に力が入ると考えています。また、大津中の体育館は暗くトイレも外にあります。練習試合で外部の人が来ても、外のトイレを案内していますが、皆さん校舎内のトイレを利用している状況です。

意見 トイレの声をよく聞きます。プールのトイレは汚い、体育館のトイレが和式なので学校に行きたくないとの声もある。洋式のトイレがあれば環境も整うのではないかと思います。先日開催された「大津町 PTA 連絡協議会と教育委員会の意見交換会」でも同様の声がありましたので、お知らせします。

また、GIGAスクール構想についてタブレット端末の整備に感謝します。学校訪問をしている中で、先生たちも模索しながら取り組んでおられます。教材研究などに苦慮されている中で、タブレット導入に対しても負担がかかるのではないかと思います。子どもたちに対してもICTに関し、慣れない人たちがいるので、ICT支援員については増員をお願いしたいと思います。

意見 子どもたちの不公平にならないように、新しい建物で勉強する子ども、老朽施設で勉強する子ども、不公平さは新しい建物ができた時点で発生しますが、教育の支援内容は同じ対応をしているので大変ありがたく思っています。また、豪雨や台風などでの被害に対しても、大規模な改修や必要に応じた対応をしていただき、ありがたく思っています。予算の状況などいろんなこともあります、優先順位を十分検討してもらいながら、計画通りの整備をお願いしたいと思います。

GIGAスクール構想については、教育委員会でも学校との連携を取ってもらい、子どもたちの活用がスムーズに進むようにお願いします。PTAからの要望としても、オンライン授業やデジタル教科書が必要との要望もあっています。ぜひ、2024年度の小学校教科書の改訂時期に、全教科のデジタル教科書導入の予算化をお願いします。

意見 GIGAスクール構想について、令和2年度の活用状況は、電子黒板を1日に1回以上利用している割合が81.3%とあるが、たくさん使う人と1回だけ使う人もあり差があると聞いています。強力に進めていくためにも、ICT支援員の増員は必要だと思います。

### ③及び④について

意見 教育支援センターでは、卓球をするなど体を動かすスペースがあるが、集中するスペースがありません。学習面での不安はありますが、学校に行けるようになった子どもがいると聞いています。感染症対策や相談員の環境整備のためにも増築をお願いします。

質疑 支援センターのトイレの改修は必要だと思いますが、センターから学校に帰るための状況も含めて、増築しないと難しいのかどうかお聞きしたい。また、働き方改革について、先生に子どもたちの支援の時間を増やしてほしいと思っていますので、部活動指導について外部指導者を増やしていくことは可能ですか。

答弁 学校復帰について「給食を食べてみよう」「ハートフルルームに行ってみよう」など段階的な形をとって、本籍クラスへ復帰できるような支援をしています。また新たな利用者の増加もあり、午後からの教室の開始も検討しましたが、生活リズムを整えることを目的にしているところもあるので、午前中の適応指導教室を維持していくことが理想的だと思っていますので増築を検討しています。トイレについてはリースなどを検討しています。

答弁 増築については迷うところですが、申込者には大きな差はないが、利用者数がこれだけ増えているということは、不登校対策の効果が出ているということだと思いません。センターに毎日来ることができるようになったら、各中学校のハートフルルームに行ってほしいと思っています。今後は、センターと中学校のハートフルルームの情報連携を強力に進めていく必要があると思います。説明にあった副センター長を置くということは、そのことも念頭に入れて検討しているところです。どちらを先に進めるか分かりませんが、どちらも検討している状況です。

答弁 大津町の中学校運動部活動指針では、1週間の練習日は5日以内、平日2時間、土日祝日が3時間以内としています。週5日で4週間であれば、月44時間の在勤になります。働き方改革を進めていく上で、外部指導員の人材確保が求められています。現在、大津中に部活動指導員を2名配置していますが、今後、2名の増加を検討しています。

意見 働き方改革について、20年前から定時退勤日などを進めていたがあまり変わっていないと思います。今はタイムカードで管理され、留守番電話やバスキャッチもあり、とても進んでいます。教頭先生は「困ったら教頭先生」と言われ、学校の先生はとても助かっているが、教頭先生はとても負担がかかっています。負担を無くすような方策を考えてほしい。

⑤について  
無し

⑥について  
意見

昔と今は状況も違いますが、子どもたちの教育を受ける権利は今も変わりませんので、行政が平等に教育の場を与えていかないといけないと考えています。この会議の中で協議をすることで予算に生かされていくと思っています。ICT教育についても、タブレットなどを揃えても先生や子どもたちに使いこなせるのかなど、心配もありましたが、教育委員会としてICT支援員を増員するなど、次の段階も考えていると感じました。今後も活用できるように学校教育の中で進めていってほしいと思います。

働き方改革については、学校では相当の事務量があると思いますが、教頭先生を増やすなどの検討を行い、先生に対し余裕のある時間を作っていく必要があります。やはり、現場から意見を言ってもらわないと予算は生きてこないなので、今後も皆さんの意見を生かしていけるように、大津町の教育のためにご指導をお願いしたいと思います。